

様式の見方

令和2年度予算要求事業概要書

事業を担当する部署を記載しています。

要求事業一覧のNO.と一致します。

所管課	子ども家庭支援部 保育課	NO	5
款	民生費	(単位：千円)	

1 事業名	病児・病後児保育	10 要求内容	要求額 ⇒	予算額	(うち特財)
2 要求区分	レベルアップ事業	レベルアップ分	小計	2,255 ⇒	
3 事業説明文	病児・病後児保育室の利便性向上を図るため、令和2年4月から各施設に予約システムを導入します。	・予約システム初期設定経費(1施設)		330 ⇒	
4 背景、区民ニーズ、現状課題等	現在、区では、病児保育室5施設(定員4~6名)、病後児保育室1施設(定員4名)で、乳幼児の一時保育を行っています。施設の利用に当たっては、1施設で独自に予約システムを導入していますが、他の5施設は電話受付のみの状況です。さらに保育時間(8:30~17:30)外や休業日(土日・祝日等)では、1施設のみが留守番電話を使用した予約受付ができる状況で、区民の利便性向上が課題です。	・予約システム運用経費(6施設)		1,925 ⇒	
5 要求する事業内容	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)する内容を記載しています。	経常経費分	小計	247,420 ⇒	(55,956)
開始時期：令和2年4月(病児保育室4施設、病後児保育室1施設) 病児保育室：あいにく病児保育室(南麻布)、ひまわり病児保育室(芝浦3)、芝浦病児保育室(芝浦4)、チャイルドケアばんびい病児保育室(白金台) ※赤坂山王病児保育室(赤坂)については、4月以降に導入する予定です。 病後児保育室：南青山病後児保育室(南青山) 実施手法：区が各施設運営事業者に対して予約システムを用いた運営を委託します。	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)による区民生活等への効果を記載しています。	・病児・病後児保育室運営経費			
6 事業実施で得られる成果	利用者及び病児・病後児保育室の予約の簡略化が図られるとともに、保育時間(8:30~17:30)外や休業日(土日・祝日等)にも、インターネットでの予約が可能となるなど、利便性が大きく向上します。	財源内訳			(55,956)
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	各自治体、施設において、インターネットでの予約システムの導入事例があります。	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金(補)		27,978
8 基本計画・個別計画	・港区基本計画、港区地域保健福祉計画、港区子ども・子育て支援事業計画	都支出金	子供・子育て支援交付金(補助1/3)		27,978
9 関連する法令・条例等	・子ども・子育て支援法	その他特財			0
		一般財源			193,719
		債務負担行為	令和 年		
		11 実施に向けた財源確保	特定財源なし	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)のために確保できる財源を記載しています。	
		12 スケジュール	令和元年11月~施設との運用方法等調整 令和2年3月 区民周知 4月 システム稼働(5施設)	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)による将来コストを記載しています。	
		13 事業実施に伴う将来コスト	令和3年度以降1,980千円/年(特財なし)		
		14 編成の考え方	【事務事業評価】 継続	令和元年度事務事業評価の結果を記載しています。 拡充：次年度、対象者やサービス内容等の充実を図るもの。 継続：次年度、今年度と同様の内容で実施するもの。 改善：次年度、事業規模や方法等を見直して実施するもの。	
				事業の効果、効率性、財政負担、事務事業評価の結果を踏まえた予算編成の考え方を記載します。(2月) ※要求段階では、空白となっています。	